

AWSに特化したZabbix障害監視サービス

CloudShiftでは、スタイルズ管理のZabbixサーバーに、アマゾン ウェブ サービス (AWS) に特化した障害監視テンプレートをご用意してお客様にマネージドサービス型の障害監視をご提供しています。

AWS Lambda、Amazon RDS、AWS Auto ScalingなどAWSならではの監視項目も、スタイルズ独自のテンプレートをご用意しているため、構築費用不要のままZabbixによる障害監視をすぐにはじめることが可能です。

スタイルズの障害監視の特徴



SaaS型ですぐ導入

- スタイルズ社内監視サーバーを利用する**マネージド型の障害監視サービス**



Zabbixによる監視

- オープンソースの監視ツールZabbixを活用した**多種多様な監視項目メニュー**をご用意
- Zabbixによる監視は**Amazon CloudWatchと比較して柔軟な対応が可能**



AWSクラウドに特化

- AWSならではの監視項目も**標準で用意**
- Auto Scaling**構成も対応
- 24時間365日の有人監視体制**
- Slack等、**SNSとの連携**も可能

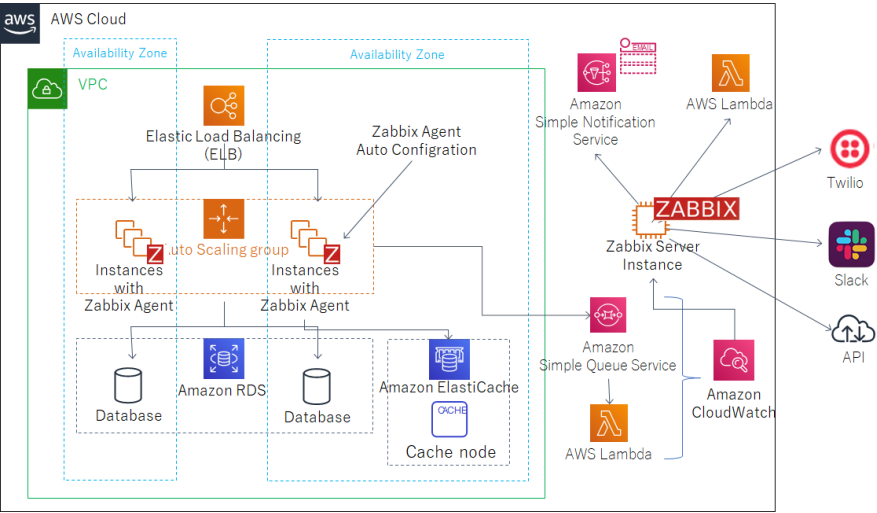


ヒアリングシート

- 監視設定**ヒアリングシート**に記入するだけで簡単に導入が可能
- 運用サービスの提供も可能

AWS監視のユースケース

アマゾン ウェブ サービス (AWS) で構築されたWeb系システムと分析基盤のZabbixで障害監視したユースケースのご紹介です。



AWSマネージドサービスを統合監視

AWSならではの監視項目をテンプレート化

種別	監視項目（1台あたり）
Amazon EC2 (ELB, AWS Auto Scaling)	・死活監視（監視エージェントとの疎通） ・リソース監視 ・プロセス監視 ・ログ監視 ・正常/非正常ホスト数の監視 ・URLレスポンスタイム
Amazon S3	・バケットに対するPUTリクエスト数 ・バケット毎の使用データ量
AWS Lambda	・関数エラーが原因で失敗した数 ・関数毎の稼働時間
Amazon Simple Queue Service (SQS)	・キューに追加されたメッセージ数 ・キューから削除されたメッセージ数 ・キューで最も古い削除されていないメッセージのおおよその経過時間
Amazon Aurora (Aurora以外のAmazon RDS可)	・死活監視：（インスタンスステータス） ・リソース監視 ・データベース接続数
Amazon Redshift	・死活監視：（ヘルスステータス） ・リソース監視 ・データベース接続数
Amazon ElastiCache	・リソース監視 ・クライアント接続数
その他	・AWS費用
アラート通知	全監視対象共通 ・指定メールアドレスへのメール通知 ※しきい値を設定し、アラート通知が必要と判断された項目

ご提供価格

スタイルズのAWSに特化したZabbix障害監視サービスは、監視項目毎にポイントをつけ監視項目数に応じて月額障害監視サービスのご提供を行っております。ポイントの詳細については、お問合せフォームよりお問合せください。

課題

- AWS利用により実現したAuto Scaling構成はそのままにAWS特有のマネージドサービスの監視
- 障害時の原因特定を簡素化
- オンタイムの障害連絡

解決

- スタイルズが開発したZabbixテンプレートでAWS特有の監視項目の値を取得
- Zabbixの画面上で値を一元化
- 障害時のアラートをコミュニケーションツールに送信